



# いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：森 雄治 幹事：松村 耕三 発行：会報・広報委員会

第 2879 例会 (7号) 2013 年 8 月 22 日 (木) 晴れ

## 外部卓話 SPEECH

### いわきにおける産婦人科医療の問題点

磐城共立病院産婦人科

部長 本多 つよし さん



出身は小名浜で、阿部弘行会員は高校の同級生です。

戦後医療が発達してきた中で、新生児の死亡率、周産期死亡率は年々減少しています。これは、ひとえに諸先輩の奮闘と同時に、母子手帳であります。昨今女性手帳の配布が話題となり、われわれは喜ばしいことだと思いましたが、反対が続出し中断しています。個人の考えはありますが、日本は啓発活動として世界に先駆けて母子手帳をつくり、その結果として周産期医療の発展があったということも事実です。女性手帳を通じての医療のさらなる向上が期待できると思います。

いわきの産婦人科医療の課題ですが、私なりに考えていますのは①青少年の性活動の活発化②子宮頸がん③晩産化(高齢妊娠・出産)です。

性感染症は性行為、あるいは、それに近い行為でうつる病気です。梅毒や淋病は過去の病気と思われがちですが散見され、特に淋病は結構見られるようになりました。このほか、クラミジア、ヘルペス、HIV、そして、子宮頸がんも性行為でうつりますので、性感染症という言い方をしています。肝炎も性行為でうつります。これらの病気が、どういった人たちに見られるかと言いますと、10代で早くも見られ、若い女性がターゲットになっています。つまり、被害者は若い女性ということです。

エイズの患者が増えているのは、先進国の中で日本だけです。他の国は予防が徹底されているからです。予防とは、そういう行為を慎むということです。自分で自分の身を守ることができるのが、先進国の証であります。残念ながら日本はそここのところは、先進国ではないということになります。政府広報の広告にありましたが、1人に性感染症があると、どんどん広がっていく、セクシャルネットワークという現実があります。あり得ないと思われるでしょうが、現実です。

人工妊娠中絶ですが、平成14年に福島県は10代の人口妊娠中絶が全国で3番目に多かった現実があります。当時の知事が何とかしてくれということで

した。われわれが啓発活動に乗り出し、県と医療が協力しました。その結果、下がってきましたが、その年代の人たちが大人になったときのデータは、相変わらず全国トップクラスです。つまり、この時期にしっかりと教育を受けていればこうならないだろうということです。若い人への啓発活動が大切だということです。われわれは依頼があれば、学校、PTA、教員、養護教員などに講演します。いわきの率は下がってきていますが、まだまだ全国平均よりも、県平均よりも高くなっています。何とかしなければならぬと思っています。これが現実です。

性感染症には、生命を脅かす危険性があり、しかも一度感染すると体から消えないウイルスがあります。例えばエイズです。それから、繰り返すことです。治りにくいということと、パートナーと一緒に治さないといけないという病気でもあります。また、中絶は危険な手術です。盲目的な手探りの手術だからです。

子宮頸がんは、早期発見すれば、怖いものではありません。かつては高齢者に多い病気でしたが、現在は若年者に多く30歳前後です。それは、若い人の性活動が活発化したためです。若い人のがんの中で、圧倒的に多いがんです。予防、早期発見、早期治療が重要です。感染は女性60%といわれますが、ほとんど治癒するといわれ、がんになる前の人が数万人、さらにがんになる人は1万人のうち、6人ぐらいといわれます。磐城共立病院の手術数は全国で十三番目といわれ、病院が頑張っているのではなく、いわき市に患者が多く、うちがやらざるを得ないという状況です。ワクチン是有効な手段でしたが、副作用の問題があり今は自主判断ということになります。自主判断するということは、逆になんかしないということになります。ではどうすればいいのか。イギリスはスクリーニング、つまり、がん検診を徹底しようということで、90%に近づくほど検診率を上げたところ、それに反比例するように子宮頸がんの進行がんの数が減りました。いわきは残念ながら10%です。何とか検診率を上げたいと思います。

高齢出産とリスクですが、35歳以上の高齢出産は30年ぐらい前は42%でしたが、2007年には20%近くになっています。結婚・妊娠を希望するならば、きちんとした知識を持つことが大事です。

いわきの産婦人科医が少ない理由は①初期研修の義務化②大野病院の事件③東京電力の原発事故④女性の職場復帰支援体制の不備—などがあります。先憂後楽という言葉がありますが、今、われわれが産婦人科医療を頑張らなければ、将来がないと思っています。



2013~2014年度  
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を」

Engage Rotary, Change Lives

# 「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

## ◆司会：松村幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（大久保健蔵会員）〕



大久保健蔵会員

## ◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○本多つよし様（磐城共立病院産婦人科部長）

### ★誕生祝



鈴木弘康さん  
(8月4日)



根本義男さん  
(8月16日)

ハッピーバースデーソング斉唱

## ◆会長挨拶ならびに報告



暑い中、多数の出席、ありがとうございます。

先日、千葉県館山市にある家内の実家に墓参に出掛けました。山崎洋次いわき明星大学長が生まれ、育った場所も近くにあると聞いています。房総半島の南端の方ですので、新鮮な魚を朝昼晩、頂きました。いわき市も東日本大震災前は、その日、取れた魚を食べていました。知り合いの都会の人々には、いわきは魚がおいしい、と自慢してきました。しかも、温暖で、一年中、ゴルフを楽しめるとも言ってきました。しかし、今は、新鮮な魚を食べることができません。いわきの文化が一つ、失われています。以前のように、早く、おいしい魚が食べられるようになれば、と思いますが、その願いはだんだん、遠くなっていくような最近の状況です。次の世代の子供たちが地元の魚を食べられるようにしたいと願っています。

## ◆幹事報告

- 米山梅吉記念館より館報が届きました。
- 小高ロータリークラブの直前会長・中島久明さんから寄付（3万円）がありました。

## 委員会報告

### ◆出席委員会（早川孝義委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
8月22日	51名	33名	—

### ◆ロータリー財団委員会（山野辺倉平委員長）

早川孝義さん、松崎倫久さん、佐々木芳弘さん、越智正典さん、大久保健蔵さん、阿部弘行さん、伊藤盛敏さん、有賀行秀さん、吉田義尚さん。以上9件

### ◆米山記念奨学会委員会（飯野光世委員長）

早川孝義さん、志賀弘昌さん、関口武司さん、大久保健蔵さん、伊藤盛敏さん、有賀行秀さん、吉田義尚さん、飯野光世さん。以上8件

- 2012 - 2013年度の山野辺倉平会長、及び、阿部弘行幹事が同年度の収支決算を報告し、出席者の全会一致で承認されました。

### ◆スマイルボックス委員会（関口武司委員長）

♥山野辺倉平さん（残暑見舞）♥黒須幸雄さん（イチロー4,000本おめでとう）♥阿部弘行さん（佐々木芳弘さんのお孫さん芳基君（磐高3年）が主役を演じNHK放送コンクール全国大会ドラマ部門で優勝しました。おめでとうございます。大物俳優誕生か？将来楽しみですね）♥佐々木芳弘さん（孫のことでうれしい事がありました）♥根本義男さん（誕生祝ありがとうございます）♥鈴木弘康さん（誕生日の御祝ありがとうございます）♥越智正典さん（本多先生卓話よろしくお願いたします）♥酒井睦雄さん（本多Dr.の卓話歓迎）♥飯野光世さん（本多先生を歓迎して、卓話楽しみにしております）♥新田俊彦さん（本多先生よろしく）♥坂本佳友さん（本多つよし先生お話し楽しみにしております。よろしくお願いたします）♥関口武司さん（本多つよし様、卓話宜しくお願いたします）♥佐藤淳さん（すみません、早退します）以上、13件

★本日の例会案内 8月29日(木)PM12:30～  
外部卓話

お食事メニュー＝牛フィレ肉のジェノバ風カツレツ

★次回の例会案内 9月5日(木)PM12:30～  
青少年委員会担当卓話

お食事メニュー＝アメリカンスペアリブ